

1 市民文化活動の充実と支援

- ・文化協会との役割分担や、さらなる多様な連携、担い手に対する支援の充実
- ・個人の文化活動への受け皿づくりなど、相談・助言体制が必要(各施設との連携)
- ・本市における文化振興の拠点の位置づけが不明確なことで、その上で近隣施設との連携も検討しつつ、文化会館を単なる会場としてだけでなく交流・育成の場へ位置づけること

2 活動の場とその整備

- ・主要文化施設(文化会館・市民館)の位置づけの明確化と、文化交流のための空間づくり、長寿命化を含む早期改修
- ・その他の施設との連携(整備もだが、むしろ文化振興のためのギャラリー並びにアウトリーチの会場としての機能展開)
- ・文化振興の担い手支援としての常設ギャラリーの検討(本市において新たな施設整備が現状では難しい中で、既存施設の活用など)
- ・市民生活の中に、「いつも文化芸術が感じられる」環境づくりのための民間も含めた施設活用

3 人材の確保と育成 ～民間との連携～

- ・専門的な人材(コーディネーター)の確保とその活用による全体マネジメント
- ・中間支援組織となる指定管理者制度の検討と、専門的なスキルをもった人材またNPO法人などとの連携

4 鑑賞機会の充実

5 子どもたちの文化芸術鑑賞機会の充実

- ・より幅広く本物の鑑賞機会を提供するための、主催者としての財団等の検討
- ・コンスタントな芸術公演の提供とあわせ、多彩な文化芸術との接点を設けるための「集める」から「届ける」への拡張(様々な施設を活用したアウトリーチなど)
- ・(特に子どもの情操教育の一環として)学校だけでなく、いつも身近に文化芸術があふれる環境づくり

6 推進体制の確立と団体の支援

- ・文化協会との役割分担やさらなる連携、また財団設立を含めたマネジメント及び資金拠出体制の検討

7 文化情報の発信

- ・あらゆるメディア・ツールを活用した情報発信(ツールの掘り起こしを含む)と体制の再構築
- ・(周知の徹底と参加しやすい環境づくりのための)年間を通じたイベント情報等の提供

8 特色ある文化イベントの開催

- ・他にない、本市の特性を活かしたイベントの取組み(既存だけでなく、新規も)

9 ガラス文化の振興

- ・市民意識へのさらなる浸透
- ・本市のアイデンティティとなりうる取組みによる魅力創出(ガラス・かるた)